サメに関する著書はその内容が似通ったものが多く，本書の内容も大部分は他書とかわりばえがしない．しかし，その副題にもあるように，ハワイにおけるサメの民族学的な話題とハワイのサメ被害や現地の情報は他書に代えがたいものがある．本書には珍しい 100 cm 以下のジンベエザメやメガマウスなど多くのカラー写真と共に，9枚のサメの原画も載せられているが，画はあまり正確ではない．

（仲谷一宏　Kazuhiro Nakaya：〒041 函館市港町 3-1-1
北海道大学水産学部水産動物学講座）

図書紹介・New Publications

魚類学雑誌
41(1): 89-90, 1994

□魚類相

History and Atlas of the Fishes of the Antarctic Ocean.—Richard Gordon Miller. 1993. Foresta Institute for Ocean and Mountain Studies Carson City, Nevada, USA. xx＋792 pp., 4 col. pls. ISBN 0-9634436-0-7. 南極海の地誌と南極海の魚類の研究史を扱った第1部（全体の十分の一）と，分類学的解説の第2部とに分かれている．第2部はさらに Notothenioidei, それ以外の南極海に endemic な魚種，nonendemic（主に cosmopolitan）な魚種に分けて解説してある．横長の本で扱いにくいが，種ごとの精密な図は大きく見やすい．文献も充実しており，Notothenioidei の詳しいシノニムリストがつけられている．(TS)

Coastal Fishes of South-eastern Australia.—Rudie H. Kuiter. 1993. Crawford House Press, Bathurst, Australia. xxxi＋437 pp. ISBN 1-86333-067-4. 本書は，オーストラリアのニューサウスウェールズ北部からヴィクトリア西部にかけて分布する魚類 142 科 855 種を収録している．すべての種の写真が示され，稚魚や雌雄の写真も示されている．(KM)

Freshwater Fishes of Western Indonesia and Sulawesi.—Maurice Kottelat, Anthony J. Whitten, Sri Nurani Kartikasari and Soetikno Wirjoatmodjo. 1993. Periplus Editions (HK), Jakarta, Indonesia. xxxviii＋221 pp., 84 pls. ISBN 0-945971-60-5. スマトラ，ボルネオ，ジャワ，スラウェシ4島の淡水性魚類約 1000 種を取り扱った本で，導入部と分類学的な解説の大きな二つのセクションから構成されている．科ごとに簡単な種の検索がついており，標徴形質が図示されている．プレートにはカラー写真と色彩画で 840 種が掲載されている．(MM)

Sharks and Rays of Australia.—P. R. Last and J. D. Stevens. 1994. CSIRO, Australia. ix＋513 pp., 84 pls. ISBN 0-643-05143-0. US$ 95.00. 新たに調査記録されたオーストラリア産のサメ類 180 種以上，100 種のエイ類，13 種のギンザメ類（タイトルにはないが）の軟骨魚類を分類学的に整理した大著．未記載種や分類学的に未解決な種は sp. として記載されている．専門家必携の書．(NK)

□魚類分類学・進化学

FAO Species Catalogue. Vol. 16. Groupers of the World (Family Serranidae, Subfamily Epinephelinae). An Annotated and Illustrated Catalogue of the Grouper, Rockcod, Hind, Coral Grouper and Lyretail Species Known to Date.—P. C. Heemstra and J. E. Randall. 1993. FAO Fisheries Synopsis. No. 125, Vol. 16. Rome, FAO. 382 pp. ISBN M 92-5-103125-8. サンゴ礁に生息するスズキ亜目魚類の中で，ハタ類は分類学的に問題の多いグループである．よく似た種が多く，老幼による色彩の変化も著しい．本書はこれらの問題を解決し，ハタ類を研究する者にとって大いに助けとなる．(KM)

□分類学・進化学一般

動物分類学の理論：多様性を認識する方法．—馬渡峻輔．1994．東京大学出版会，東京．viii＋233 pp. ISBN 4-13-060157-1. ¥3,399（税込）．雑誌『生体防御』に連載された原稿が下敷きになってまとめられた本．大学生以上で分類学の基礎知識を必要とする人がおもな読者層として設定されている．第1章—分類学の枠組み，第2章—伝統的な分類学の方法，第3章—自然をまとめ

る（体系分類の問題点），第4章—ふたたび自然をわける（種分類の問題点），第5章—国際動物命名規約，第6章—日本の分類学的研究の計6章からなる．最後の章は日本の分類学の（悲惨な）現状を知るうえでたいへんに役立つ資料．(MM)

数理分類学．—P. H. A. スニス・R. R. ソーカル．1994．西田英郎・佐藤嗣二（訳）．内田老鶴圃，東京．xvi＋696 pp. ISBN 4-7536-0177-X. ¥15,450（税込）．［原書：Numerical Taxonomy: The Principles and Practice of Numerical Classification.—Peter H. A. Sneath and Robert R. Sokal. 1973. W. H. Freeman and Company, San Francisco, USA. xvi＋573 pp.］あの名著が今ごろになって翻訳された．生物分類学にとっては過去のもののような気がするが，分類そのものを研究する人にとっては不朽の価値があるのだろう．訳者は統計学者と文学者．(MM)

植物の自然史：多様性の進化学．—岡田　博・植田邦彦・角野康郎（編）．1994．北海道大学図書刊行会，北海道．vii＋263 pp. ISBN 4-8329-9471-9. ¥3,090（税込）．“多様性”をキーワードに，植物分類学の若手研究者が自分の研究テーマをもとに進化のさまざまな問題を論じている．動物分類学者・進化学者にとっても得るところの大きな本．(MM)

□魚類生態学・行動学

Multivariate Methods in Aquaculture Research: Case Studies of Tilapias in Experimental and Commercial Systemes.—M. Prein, G. Hulata and D. Pauly (eds.). 1993. ICLARM, Metro Manila, Philippines. ix＋221 pp. ISBN 971-1022-85-0. US$25.00. 多変量解析そのもの，ティラピアを材料とした実験データに対する多変量的手法の応用，ティラピア養殖の経済的側面に対する多変量的手法の応用の3点について論じた解説集．(MM)

Webs and Scales: Physical and Ecological Processes in Marine Fish Recruitment.—Michael M. Mullin. 1994. University of Washington Press, Washington, USA. xi＋135 pp. ISBN 0-295-97244-0 (cloth). ISBN 0-295-97245-9 (paper). $25.00 (cloth). $15.00 (paper). プランクトン生態学者である著者が，魚類個体群の加入に関する問題を食物網と時空間スケールの二つに焦点を当てて論じた本．(MM)

□その他

琵琶湖の自然史．—琵琶湖自然史研究会（編）．1994．自然史双書5．八坂書房，東京．340 pp. ISBN 4-89694-805-X．琵琶湖のおいたち，生息する生物のおいたちを述べた本．琵琶湖産魚類の進化について，化石のデータを示して，仮説を展開している．(KM)

Biological Expedition to the Northern Mariana Island, Micronesia.—Akira Asakura and Tatsuwo Furuki (eds.). 1994. Natural History Research, Special Issue, No. 1. Natural History Museum and Institute, Chiba, Chiba. xix＋344 pp. ISSN 1340-2692. ¥3,380（送料込）．千葉県立中央博物館が1992年5～6月に行った北マリアナ生物相調査をまとめた英文論文集．植物から無脊椎動物・脊椎動物を広く扱った計41篇のリストと論文からなる．魚類については T. Donaldson ほかが“Zoogeography of fishes of the Mariana, Ogasawara and Izu Islands: A preliminary assessment”と題してこれらの島々の魚類相を論じている．今や地方博物館でもこれだけのことができるという格好の見本．氏名・住所・電話番号を記した申込所を〒260 千葉市中央区青葉町955-2　千葉県立中央博物館友の会宛に送り，郵便振替（東京1-537050　千葉県立中央博物館友の会）で上記金額を振り込むことによって入手できる．残部僅少．(MM)